

Sammy NetWorks

第8期 ● 報告書

2006年4月1日から2007年3月31日まで





と言わせるコンテンツを創造し、
発信し続ける会社です。

アミューズメント事業

パチスロ・パチンコの人気機種やカジノゲームなどを、携帯電話やパソコン上で再現。とことん遊べる楽しいコンテンツを企画・開発。実物にも劣らない興奮をお届けしております。

サウンドコミュニケーション事業

携帯電話などに向けて、着信メロディやアーティストの生音源や生映像を着うた®/着ムービー™として配信するコンテンツを展開しています。中には、高音質や動画にこだわったサイトもございます。

海外事業

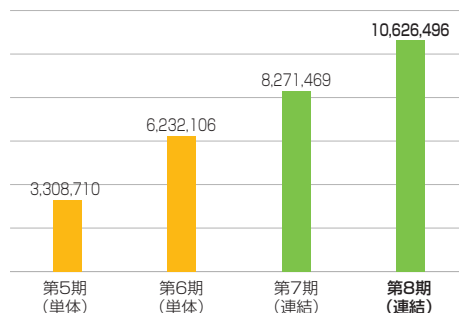
中国を中心としたアジア地域に対し、携帯電話向けコンテンツの配信をおこなっております。特に成長著しい中国市場においては、2005年4月に有力携帯コンテンツ配信会社を買収し、本格展開を図っております。

その他の事業

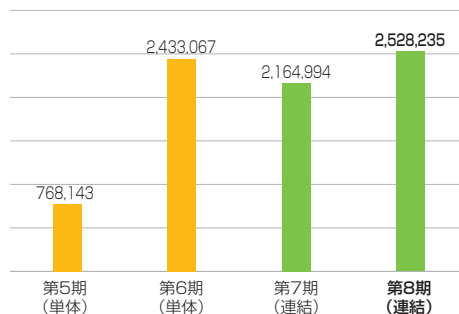
2006年10月に株式会社メディア・トラストを子会社化し、ソリューション事業として各種コンテンツやWeb関連システム等の企画から開発・運営まで、一貫したサービスの提供を開始しております。また、2006年11月には株式会社リアラスを子会社化し、ポイントメディア事業としてユーザーに無料でコンテンツを配信し、広告主より収入を得るビジネスモデルへの進出を図っております。

財務ハイライト

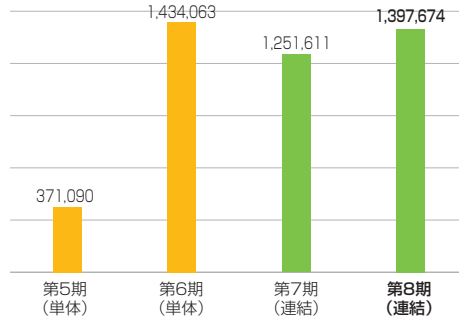
● 売上高 (単位：千円)



● 経常利益 (単位：千円)



● 当期純利益 (単位：千円)



* 前期より連結財務数値を開示しております。

目標達成を糧にしつつ、
新たなる飛躍に挑戦し、世の中を
「わっ!」と言わせるべく邁進します。

2000年の創業以来、私どもサミーネットワークスグループは、「来るべきユビキタス社会において、ネットワークでつながるあらゆるデバイスを通じて、様々なコンテンツにより、多くの皆様に感動や楽しさを提供し続ける」という企業理念のもと、皆様に「喜び、楽しみ、感動」を届けてまいりました。

当期（2006年4月1日から2007年3月31日まで）におきましては、アミューズメント事業におけるパチスロ・パチンコゲームコンテンツの堅調な伸びや、下半期のM&Aによる事業領域拡大等により、連結売上高106億26百万円（前期比28.5%増）、連結経常利益25億28百万円（前期比16.8%増）、連結当期純利益13億97百万円（前期比11.7%増）となり、当社グループの第1 STEPの目標としておりました、売上高100億円、経常利益25億円を達成することができました。当社の事業にご理解をいただき温かいご支援をいただきました多くの皆様に深く感謝いたします。

今後も現状に甘んじることなく、めまぐるしく変化するネットワーク環境の中で、さらなる企業価値の向上を目指し邁進してまいります。

なお、期末配当金につきましては、1株につき3,000円を実施いたしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2007年6月

代表取締役社長

大野政昭



● ● ● トップインタビュー

新たな目標達成に向けた事業分野の拡大とものづくりの原点としての足元固め。

代表取締役社長 大野政昭インタビュー

Q1 当期（2007年3月期）における 取り組みと成果はいかがでしたか？

大野 モバイルコンテンツ市場としては、次第に成熟感が表れつつあるというのが当期の状況でした。これまでの順調な拡大を支えてきた要素だけで、今後も成長を維持していくことが難しくなってきており、各社とも新しい成長エンジンが必要になってきています。

そうした中で当社は、「脱・携帯」および「従来の携帯コンテンツからの脱却」をテーマとした取り組みとして、パソコン向けパチスロ・パチンコオンラインゲーム「777タウン・ドットネット」や、携帯電話にダウンロードしたさまざまなプログラムデータを生活周辺の電子機器に配信できる「muPass」といったサービスに注力していきました。

また当期から、広告などの収入多様化、成長のための開発力強化のため「ポイントメディア事業」および「ソリューション事業」を新たに立ち上げ、その体制構築に向けて、株式会社リアラス（ポイントメディア事業）、株式会社メディア・トラスト（ソリューション事業）の2社を子会社化しました。

これらを中心とする取り組みの結果、特にアミューズメント事業における「777タウン・ドットネット」の会員数・売上高の増加が大きく牽引し、当期の業績は、第1ステップの目標でありました連結売上高100億円を上回るとともに、連結営業利益・連結経常利益においても前期比16%以上の増加となりました。

Q2 戦略事業である「777タウン・ドットネット」「muPass」「中国展開」の状況を詳しくご説明願います。

大野 アミューズメント事業における「脱・携帯」の戦略事業である「777タウン・ドットネット」は、当期末現在の有料会員数が約10万人（前期末比約7万人増）と、大きく成長しました。これは、主に人気パチスロ機「北斗の拳SE」ゲームの先行配信、パチンコゲームの開始などが寄与したものです。

「777タウン・ドットネット」では、パチスロメーカー各社を網羅したゲームアプリの充実に加えて、パチンコ、マーチャン、カジノゲームといったコンテンツの品揃えを拡大しており、今後の目標として、有料会員数20万人・売上客単価3,000



円（現在、約2,000円）を目指していきます。また、将来的には、日本国内に約3,000万人と言われるギャンブルファン層にとっての定番ポータルサイトのポジションを狙っています。

「muPass」においては、従来のメロディデータ配信から、印刷コンテンツなどのデータ配信を中心とした成長路線に転換しはじめており、その大きな動きとして当期は、2006年11月にセイコーエプソン株式会社およびエプソン販売株式会社との間で、技術・業務提携を締結しました。この提携により、今後のエプソン製家庭用インクジェットプリンターには、ソフトウェア化した「muPass」が搭載され、携帯電話からの印刷コンテンツの購入が可能となります。今後は、他のプリンターメーカー等との提携も視野に、来期（2008年3月期）における「muPass」搭載製品数を累計350万台（203万台増）まで拡大させていきたいと考えています。

一方、「muPass」用の販売コンテンツについても、ショップ数・アイテム数を充実させていきます。2007年7月からは、KDDI株式会社との提携により、au携帯電話の公式サイトとして「モバプリ」サービスがオープンします。「muPass」の技術が持つ豊かな可能性を普及させ、人々のライフスタイルを大きく変えていきたい、という当社のビジョンが実現しつつあります。

中国での事業展開については、2006年6月から携帯電話向けコンテンツサービスに関する中国当局からの規制が強化された影響を受けて、主力のSMS（ショートメッセージサービス）の会員数が、前期末の約219万人から約52万人に大きく減少し、減収となりました。この規制強化は、悪質業者や違法行為の排除を目的とする、市場の健全化に向けた内容ですが、一律に実施されたために、業界全体が大きな打撃を受けました。収益の回復には、しばらくの時間を要すると思われませんが、中国市場自体は依然として大きな将来性を有しており、長期的には市場の健全化を果たした後に、着実な成長が見込まれるものと考えています。



パソコン向けオンラインパチスロゲーム「777タウン・ドットネット」



ゲーム画面
（パチスロ北斗の拳SE）

オリジナルパチンコアプリ画面
（CRじゃぼんFN）

着信メロディやプログラムデータを生活周辺の電子機器に配信

ベビー玩具
（コンビ製）

リズム時計/
目覚まし時計
（リズム時計工業製）

プリンター
（エプソン製）

固定電話機
（三洋電機製）

カーリーダー
（コピテル製）

Q3 当期からの新事業について、その内容と目的、今後の計画をお聞かせください。

大野 2006年11月、当社は、株式会社リアラスを子会社化し、ポイントメディア事業を開始しました。さらなる事業の拡大に向けて、ユーザーに無料でコンテンツを配信し、広告主より収入を得るビジネスモデル（無料コンテンツモデル）に参入していくことが目的です。リアラスが運営する無料会員制サイト「yosoo.net（予想ネット）」は、スポーツの勝敗、平均株価、CDの売上ランキングなど、世の中のさまざまな出来事をユーザーが結果予想し、その的の中に応じたポイント（換金などが可能）を入手するというサービスです。当社は、このポイントメディア事業を新たに戦略事業として位置づけています。

これからは、「yosoo.net」のサイトリニューアルとともに、集客モデルと課金モデルをさらに進化させ、来期には220万人（68万人増）の会員獲得を目指していきます。

もうひとつの新規事業であるソリューション事業は、2006年10月に子会社化した株式会社メディア・トラストによる事業です。当社が、競争の激しいモバイル・PCコンテンツ配信業界において企画・開発・配信を展開していくためには、コンテンツやサービスの企画力と、技術企画・開発・運営までの一貫体制の構築が不可欠です。ソリューション事業の立ち上げは、これを当社グループ内に確保することが目的であり、今後、さらに重要度が高まってくるものと考えています。

Q4 今後の展望と課題についてお聞かせください。

大野 連結売上高100億円というハードルを越えた現在、次の目標地点としては、連結売上高500億円、連結経常利益100億円の達成を視野に入れています。その実現に向けた今後の成長計画として、3年後（2010年3月期）における連結売上高200億円、連結経常利益40億円を目標としています。

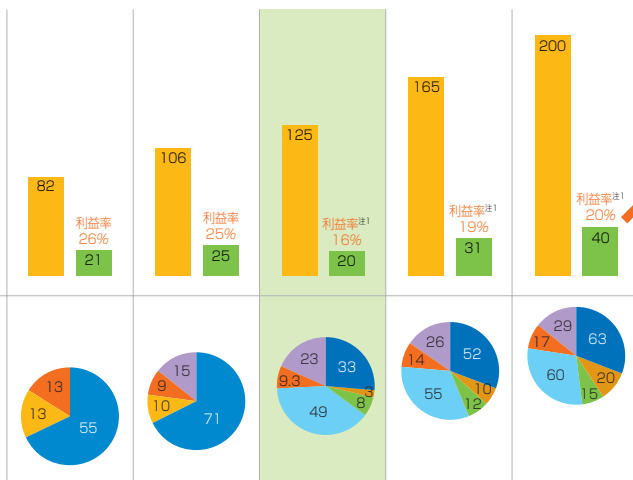
先に申し上げたとおり、当社がモバイル・PCコンテンツ配信業界において勝ち残り、大きな成長を実現していくためには、コンテンツやサービスの企画力が重要であり、加えて人材力の確保が重要な課題となってきます。こうした足元固めに向けた経営資源の投入により、当期において約25%を遂げた連結売上高経常利益率については、一時的な低下を余儀なくされるものと見込んでいます。具体的に、2008年3月期には、子会社化したリアラス、メディア・トラスト両社ののれん償却に約3.4億円、中国子会社ののれん償却の早期適用に約4.4億円を計上、および人件費増で、連結売上高125億円の増収を見込みながら



売上高・経常利益の推移

(単位：億円)

■ 売上高
■ 経常利益



3年後には
売上高200億円
経常利益40億円
を目指す

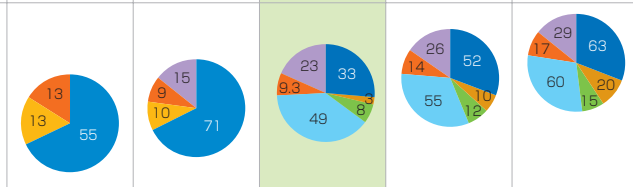
2011/3以降は
中国事業のれん償却
(年4.4億円)
終了により
利益拡大

部門別売上高構成比率の推移

(単位：億円)

2006/3～2007/3 (実績) 2008/3～2010/3 (計画)

- アミューズメント事業
- サウンドコミュニケーション事業
- 海外事業 (2005年3月期まではエンタテインメント事業)
- その他の事業 (ポイントメディア事業、ソリューション事業等)
- AMオンライン
- muPass
- ポイントメディア
- AMモバイル
- 海外事業
- その他の事業



2006/3 (実績) 2007/3 (実績) 2008/3 (計画) 2009/3 (計画) 2010/3 (計画)

今期

(注1) 2008年3月期～2010年3月期の3年間については、海外子会社ののれんの償却を1年早期に前倒で適用します。毎期、のれんの償却額が4億40百万円発生し、同金額が利益の減少要因となります。

(注2) 円グラフの数値は連結消去前です。

(注3) 2006/3より連結決算となりました。

減益を予想しています。

来期後半からは、さらに新たな事業分野として、「※エデュテイメント (子供向け教育分野)」「e-パブリッシング (出版分野)」への参入を計画しています。当社は、こうした新しい取り組みとともに、ものづくりの原点としての企画力の確保、人材の拡充を踏まえ、将来に向けた成長を実現していきます。

※ Education (エデュケーション=教育)とEntertainment (エンターテインメント=娯楽)をあわせた造語であります。

Q5 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

大野 当社は、ここに述べました成長目標に向かって邁進し、事業価値をより高めていくことで、株主の皆様のご支援とご期待にお応えしていく所存です。当期は、配当性向にして約10%を株主の皆様への利益還元とさせていただきますが、今後は業績の拡大と配当性向の向上により、さらに多くの株主配当を実施できるよう努力してまいります。

「ネットワークを通じて、世の中に“わっ!”を提供する」をビジネスコンセプトとして、当社は、感動や楽しさの追求による事業価値の拡大をテーマに、チャレンジし続けていきます。

株主の皆様におかれましては、長期的な視点で当社の成長力に期待していただき、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

パソコン向けオンラインパチスロゲーム 「777タウン・ドットネット」



パソコン向けパチスロオンラインゲームとして展開しております、「777タウン・ドットネット」において、大ヒットパチスロ機「パチスロ北斗の拳SE」を実際のパチンコホールへの設置に先行して配信をおこない好評を得ました。

また、パチスロゲームのみでなく、2006年12月には当サービス初となるパチンコゲーム第1弾「CRじゃぼんFN」の配信やサイト内で利用できるアイテム、アバター等の販売も開始いたしました。

今後はパチンコゲーム、コミュニティ機能のさらなる充実を図るとともに、麻雀・カジノゲームといった事業領域の拡大も図ってまいります。

携帯電話を使った新システム 「muPass」(ミューパス)



携帯電話を使ったデータ配信システム「muPass」において、対応製品が2007年3月末までに5製品発売となり、合計で8製品（累計出荷台数147万台）が発売されております。従来のメロディ配信に加え、カーレーダーへの位置情報データ配信等の実需系データ配信サービスを開始しております。

また、当社と提携しておりますエプソン社の家庭用プリンターを対象に、当社とKDDI社は、業界で初めて、携帯電話でダウンロードした各種コンテンツを紙にプリントアウトして楽しむことができる「モバプリ」サービスの提供開始について、2007年5月に発表しております。

今後もその他対応製品の発売、サービスの拡充を図ってまいります。



新事業「ポイントメディア事業」の立ち上げ



2006年11月に（株）リアラスを子会社化したことにより、無料コンテンツへの集客を利用した広告収入モデルを立ち上げました。電子商品購入や会員登録などで付与されたポイントを予想ゲームなどにより増やすことができる「予想ネット」などのコンテンツの運営をおこなっております。

当事業は、当社グループのこれまでのビジネスモデルであるユーザーに有料にてコンテンツを配信するモデルに加え、新しいビジネスモデルとして成長させることを目指しております。

全般の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、継続的な原油の高騰、米国経済の減速感などの懸念材料もあり、依然として不透明感が続いているものの、企業収益の改善による設備投資の増加と雇用環境の改善による個人消費を背景に、引き続き緩やかな拡大基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境としましては、日本国内におけるFTTH、DSL等の主要なブロードバンド契約数が平成18年12月末現在で2,576万件であり、インターネット接続サービス契約数の84%を占めております。^(※1) 一方日本国内における携帯電話機等の加入者数は、平成19年3月末現在で10,163万件（前年同期比5.3%増）であります。そのうちインターネット接続が可能な携帯電話の加入者数は、9,671万件で携帯電話機等の95.1%を占めています。^(※2) このように携帯電話端末によるインターネット利用がますます一般的かつ日常的なものになってきております。

このような状況の中、当社グループは携帯電話向けのパチスロ・パチンコゲーム、着信メロディ等の既存サービスの拡大・維持を精力的に推し進めてまいりました。既存事業の展開に加え、当社グループの新しい柱となるべく新サービス、PC等の携帯電話以外のプラットフォームへのコンテンツ配信展開における、企画、コンテンツ配信に必要なシステムの開発、サービスの立ち上げにおいても既存事業と同様に、積極的な展開をおこなってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高106億26百万円（前年同期比28.5%増）、経常利益25億28百万円（前年同期比16.8%増）、当期純利益13億97百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

※1 総務省調べ ※2 社団法人電気通信事業者協会調べ

事業部門別の概況

アミューズメント事業

●アミューズメント事業におきましては、主力コンテンツである携帯電話向けパチスロ・パチンコゲームサイト「サミー777タウン」にて、アプリゲームの実機販売に先駆けた先行配信やアプリゲーム以外のコーナーの充実に努めてまいりました。

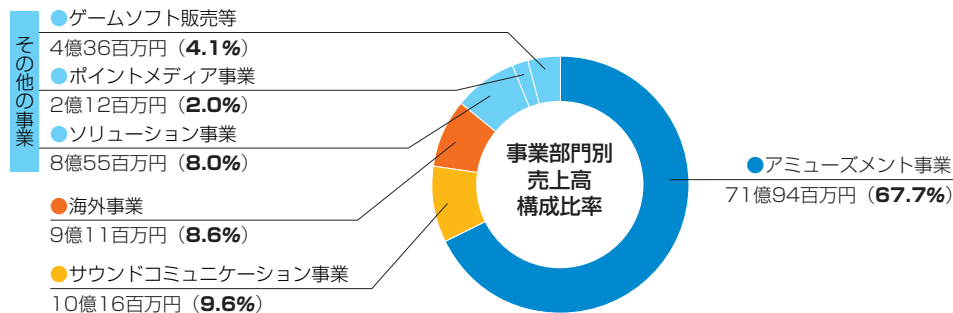
また、当社グループが戦略事業の1つと位置づける、パソコン向けパチスロ・パチンコオンラインゲーム「777タウン・ドットネット」におきましては、同サービス初となる実機販売に先駆けたゲームの先行配信、パチンコゲームの導入・課金開始、電子アイテム販売の開始および、オンラインゲームならではのコミュニケーション機能充実等のサービス面の強化に努めてまいりました。

この結果、アミューズメント事業の売上高は71億94百万円（前年同期比29.8%増）となりました。

サウンドコミュニケーション事業

●サウンドコミュニケーション事業におきましては、高音質着信メロディサイト「プラチナメロディ」、着うた、着ムービー配信サイト「プラチナうた&ライブ」などにおいて、アーティストのCD販売に先駆けて着メロおよび着うたの先行配信やコーナー充実等をおこなってまいりました。しかしながら、会員数の減少に歯止めをかけるにはいたりませんでした。また、当社グループが戦略事業の1つと位置づける、携帯電話を利用したサービス「muPass（ミューパス）」におきましては、muPass搭載5製品が当期発売になり、位置情報などの実需系データ配信を開始いたしました。

この結果、サウンドコミュニケーション事業の売上高は、10億16百万円（前年同期比25.1%減）となりました。



海外事業

●海外事業におきましては、携帯端末の機能向上もあいまって携帯コンテンツ市場も高成長を遂げている中国において、平成17年4月にモバイルコンテンツプロバイダーである広州市華創信息技术有限公司を子会社化し、本格的な中国展開を開始しております。

当社グループは主力のSMS（ショートメッセージサービス）^(※1) およびMMS（マルチメディアメッセージングサービス）^(※2) に注力しつつ、成長著しいIVR（インタラクティブ・ボイス・レスポンス）^(※3) やCR（カラーリング）^(※4) といった新分野にも積極的に展開してまいりました。

しかしながら、中国国内で平成18年6月より携帯コンテンツ配信に関わる各種規制の強化があり、当社グループ主力のSMSにおいて、会員数を大きく減少させることになりました。

その結果、海外事業の売上高は、9億11百万円（前年同期比33.4%減）となりました。

- ※1 携帯電話間で短いテキスト（通常100から200文字）をやり取りするサービス。
- ※2 従来のSMSに、待受け画面、着信メロディ、動画等を添付できるサービス。
- ※3 携帯電話の発信者のダイヤル操作に合わせて、ユーザーが知りたい情報を提供するサービス。
- ※4 携帯電話の呼び出し音を好きな曲や歌に変更できるサービス。

その他の事業

ソリューション事業

●ソリューション事業におきましては、平成18年10月にコンテンツやサービスの企画力だけでなく、技術企画・開発・運営まで一貫した総合的な体制の構築を目的に、株式会社メディア・トラストを子会社化し、ソリューション事業を立ち上げました。この結果、ソリューション事業の売上高は8億55百万円となりました。

ポイントメディア事業

●ポイントメディア事業におきましては、平成18年11月にユーザーに無料でコンテンツを配信し、広告主より収入を得るビジネスモデルへの進出を目的に、株式会社リアラスを子会社化し、ポイントメディア事業を立ち上げました。

その結果、ポイントメディア事業の売上高は、2億12百万円となりました。

●また、株式会社メディア・トラストの子会社である株式会社キュールにおいて、ゲームソフト販売を中心に事業展開しております。

この結果、ゲームソフト販売等の売上高は4億36百万円となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2007年3月31日現在	2006年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	6,502,055	6,855,692
現金及び預金	3,476,126	4,517,770
売掛金	2,427,011	2,136,435
商品	79,354	3,828
繰延税金資産	101,738	61,691
その他	417,824	135,967
固定資産	5,947,452	3,620,925
有形固定資産	193,710	150,797
無形固定資産	4,249,782	2,631,227
投資その他の資産	1,503,959	838,900
資産合計	12,449,507	10,476,617
●負債の部		
流動負債	2,315,987	1,260,182
買掛金	890,902	561,827
未払金	189,489	203,425
未払法人税等	863,663	388,513
賞与引当金	77,000	71,599
役員賞与引当金	50,000	—
その他	244,931	34,815
固定負債	75,047	52,548
負債合計	2,391,035	1,312,731
●少数株主持分		
少数株主持分	—	725,376
●資本の部		
資本金	—	2,286,075
資本剰余金	—	2,930,610
利益剰余金	—	2,957,174
その他有価証券評価差額金	—	39,873
為替換算調整勘定	—	224,776
資本合計	—	8,438,509
負債、少数株主持分及び資本合計	—	10,476,617
●純資産の部		
株主資本	8,962,139	—
資本金	2,306,050	—
資本剰余金	2,950,585	—
利益剰余金	4,210,048	—
自己株式	△504,545	—
評価・換算差額等	269,547	—
少数株主持分	826,785	—
純資産合計	10,058,472	—
負債純資産合計	12,449,507	—

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2006年4月1日から 2007年3月31日まで	2005年4月1日から 2006年3月31日まで
売上高	10,626,496	8,271,469
売上原価	4,877,379	3,476,900
売上総利益	5,749,116	4,794,569
販売費及び一般管理費	3,226,910	2,628,248
営業利益	2,522,205	2,166,320
営業外収益	12,163	5,038
営業外費用	6,134	6,364
経常利益	2,528,235	2,164,994
特別利益	1,000	—
特別損失	977	—
税金等調整前当期純利益	2,528,257	2,164,994
法人税、住民税及び事業税	1,282,761	900,814
法人税等調整額	△140,772	△42,821
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△11,407	55,388
当期純利益	1,397,674	1,251,611

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2006年4月1日から 2007年3月31日まで	2005年4月1日から 2006年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,495,736	1,041,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,520,549	△2,782,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,046,560	△69,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,587	78,700
現金及び現金同等物の減少額	△1,041,786	△1,732,145
現金及び現金同等物の期首残高	4,517,770	6,249,915
非連結子会社の連結化に伴う増加額	142	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,476,126	4,517,770

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

当連結会計年度 2006年4月1日から 2007年3月31日まで	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2006年3月31日残高	2,286,075	2,930,610	2,957,174	—	8,173,859	39,873	224,776	264,650	725,376	9,163,885
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	19,975	19,975	—	—	39,950	—	—	—	—	39,950
剰余金の配当	—	—	△110,145	—	△110,145	—	—	—	—	△110,145
利益処分による役員賞与	—	—	△12,250	—	△12,250	—	—	—	—	△12,250
当期純利益	—	—	1,397,674	—	1,397,674	—	—	—	—	1,397,674
連結子会社の増加による減少	—	—	△22,405	—	△22,405	—	—	—	—	△22,405
自己株式の取得	—	—	—	△504,545	△504,545	—	—	—	—	△504,545
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△23,679	28,576	4,896	101,409	106,306
連結会計年度中の変動額合計	19,975	19,975	1,252,874	△504,545	788,279	△23,679	28,576	4,896	101,409	894,586
2007年3月31日残高	2,306,050	2,950,585	4,210,048	△504,545	8,962,139	16,193	253,353	269,547	826,785	10,058,472

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当事業年度	前事業年度
	2007年3月31日現在	2006年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	5,198,071	5,963,553
現金及び預金	2,511,493	3,868,595
売掛金	1,814,912	1,777,344
商品	3,404	3,828
前払費用	49,410	106,059
繰延税金資産	101,738	61,691
短期貸付金	663,000	140,000
その他	54,112	6,034
固定資産	5,873,021	3,368,814
有形固定資産	77,065	102,681
無形固定資産	222,212	248,447
投資その他の資産	5,573,744	3,017,685
資産合計	11,071,093	9,332,368
●負債の部		
流動負債	1,923,765	1,125,189
買掛金	670,668	561,827
未払金	132,163	98,392
未払費用	10,573	7,650
未払法人税等	871,704	358,554
未払消費税等	81,465	10,574
前受金	10,245	3,526
預り金	19,944	13,064
賞与引当金	77,000	71,599
役員賞与引当金	50,000	—
固定負債	64,469	52,548
負債合計	1,988,234	1,177,738
●資本の部		
資本金	—	2,286,075
資本剰余金	—	2,930,610
利益剰余金	—	2,898,070
利益準備金	—	2,885
当期末処分利益	—	2,895,184
その他有価証券評価差額金	—	39,873
資本合計	—	8,154,629
負債・資本合計	—	9,332,368
●純資産の部		
株主資本	9,066,665	—
資本金	2,306,050	—
資本剰余金	2,950,585	—
利益剰余金	4,314,574	—
自己株式	△504,545	—
評価・換算差額等	16,193	—
その他有価証券評価差額金	16,193	—
純資産合計	9,082,858	—
負債純資産合計	11,071,093	—

損益計算書

(単位：千円)

科目	当事業年度	前事業年度
	2006年4月1日から 2007年3月31日まで	2006年4月1日から 2006年3月31日まで
売上高	8,213,343	6,902,349
売上原価	3,326,154	3,074,237
売上総利益	4,887,188	3,828,111
販売費及び一般管理費	2,167,298	1,788,759
営業利益	2,719,890	2,039,351
営業外収益	9,114	3,408
営業外費用	3,452	6,072
経常利益	2,725,551	2,036,686
特別利益	1,000	—
特別損失	59,058	—
税引前当期純利益	2,667,493	2,036,686
法人税、住民税及び事業税	1,293,000	887,000
法人税等調整額	△164,405	△42,821
当期純利益	1,538,898	1,192,507
前期繰越利益	—	1,702,676
当期末処分利益	—	2,895,184

株主資本等変動計算書

(単位：千円)

当事業年度 2006年4月1日から 2007年3月31日まで	株主資本					自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計				
2006年3月31日残高	2,286,075	2,930,610	2,885	2,895,184	2,898,070	—	8,114,755	39,873	8,154,629
事業年度中の変動額									
新株の発行	19,975	19,975	—	—	—	—	39,950	—	39,950
剰余金の配当	—	—	—	△110,145	△110,145	—	△110,145	—	△110,145
利益処分による役員賞与	—	—	—	△12,250	△12,250	—	△12,250	—	△12,250
当期純利益	—	—	—	1,538,898	1,538,898	—	1,538,898	—	1,538,898
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△504,545	△504,545	—	△504,545
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	△23,679	△23,679
事業年度中の変動額合計	19,975	19,975	—	1,416,503	1,416,503	△504,545	951,909	△23,679	928,229
2007年3月31日残高	2,306,050	2,950,585	2,885	4,311,688	4,314,574	△504,545	9,066,665	16,193	9,082,858

会社概要

(2007年3月31日現在)

●会社名	株式会社サミーネットワークス Sammy NetWorks Co., Ltd.
●本社所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目9番11号 オリックス赤坂2丁目ビル9階
●設立	2000年3月1日
●資本金	23億6百万円
●事業内容	携帯電話、PCへの音楽関連コンテンツ、ゲーム関連コンテンツの配信サービス、インターネット広告事業、Eコマースおよびシステム開発事業
●監査法人	あずさ監査法人
●従業員数	連結245名、単体78名

●役員		(2007年6月14日現在)	
取締役会長	里見 治	上級執行役員	近藤 雅信
代表取締役社長	大野 政昭	上級執行役員	新谷 省二
専務取締役	石倉 博	執行役員	小野寺 正宏
取締役	大山 太郎	執行役員	倉垣 英男
取締役	中山 圭史	執行役員	佐藤 慎吾
取締役	西田 浩	執行役員	小口 剛
常勤監査役	崎野 清文	執行役員	三井 友樹
常勤監査役	嘉指 富雄	執行役員	伊波 達也
監査役	榎本 峰夫	執行役員	秋吉 正樹
監査役	家田 和忠		

●連結子会社		(2007年3月31日現在)	
株式会社リアラス			
株式会社メディア・トラスト			
株式会社キュール			
Sammy NetWorks Asia Pacific Limited			
JVMMS Holdings Ltd.			
広州市華創信息技術有限公司			
広州市奥創信息技術有限公司			
広州市鴻創信息技術有限公司			
北京颯美网络有限公司			

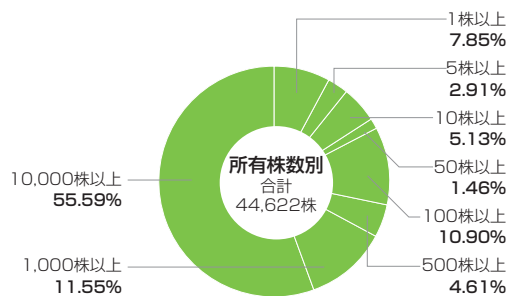
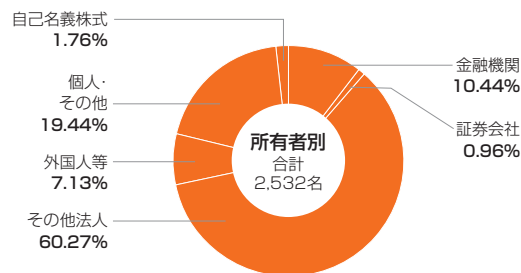
株式情報

(2007年3月31日現在)

●発行可能株式総数	120,000株
●発行済株式総数	44,622株
●株主数	2,532名

●大株主		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
セガサミーホールディングス株式会社	24,804	55.58
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,103	4.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,041	4.57
メロンバンクTREEティアクライアンスツオムコバス	1,009	2.26
株式会社サミーネットワークス	786	1.76
大野 政昭	648	1.45
バンクオブニューヨークヨーロッパリミテッド	624	1.39
株式会社ドコモ・ドットコム	420	0.94
倉垣 英男	408	0.91
株式会社インデックスホールディングス	400	0.89

●株式分布状況

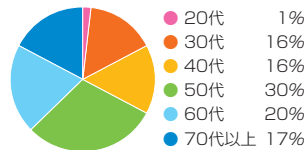


株主インフォメーション

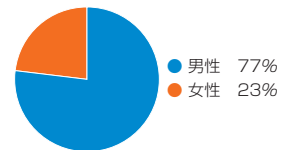
アンケートのご報告

前回中間報告書にて実施いたしました、株主の皆様を対象とした「株主アンケート」の集計結果が整いましたので、主なデータをご報告いたします。アンケートに際しましては、多くの皆様のご協力を賜りましたことを、あらためて感謝申し上げます。

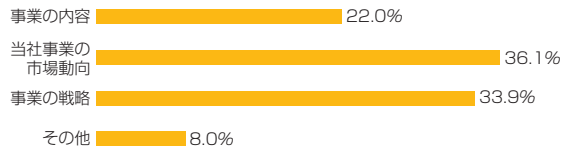
アンケート回答者様の世代別内訳



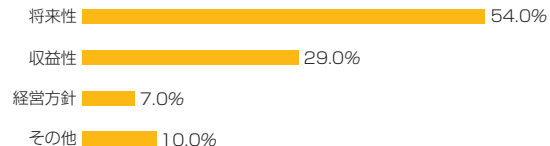
アンケート回答者様の性別内訳



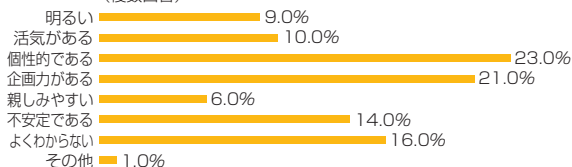
Q: 当社について関心のある情報は何ですか？
(複数回答)



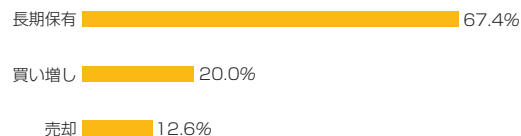
Q: 当社に期待することは何ですか？
(複数回答)



Q: 当社にどのようなイメージをお持ちですか？
(複数回答)



Q: 今後、当社の株式についてどのような方針をお持ちですか？
(複数回答)



ホームページのご案内



サミーネットワークスに関する詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。または、IRメールにて最新情報を配信しております。ぜひ、この機会にご登録ください。

● ホームページアドレス

<http://www.sammy-net.jp>

● IRメール配信

<http://www.sammy-net.jp/ir/mail/>

©武論尊・原哲夫/NSP 1983 「サラ金」©本宮ひろ志/集英社
著作権許諾証GT-706.©Sammy ©Sammy@RODEO

「CRサラ金」©本宮ひろ志/集英社 ©福本伸行/竹書房-VAP-4Cast-NTV
/FIELDS ©Sammy ©Athena

©YNK Japan ©Sammy

「着うた」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの商標です。
全てのブランド名または製品名は、それらの所有者の商標もしくは登録商標です。

今後の見直しに関する注意事項

本誌の記載内容のうち、当社の将来に関する見直し及び計画などの歴史的事実でないものについては将来予測であり、現在入手可能な情報から得られた会社の判断に基づいています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見直しとは大きく異なる可能性があります。


● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
	中間配当を行う場合は9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所
公告掲載URL	http://www.sammy-net.jp/announcement.html (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、端株株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、左記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

 **0120-244-479**
(三菱UFJ信託銀行本店証券代行部)

 **0120-684-479**
(三菱UFJ信託銀行大阪支店証券代行部)

インターネットアドレス
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



〒107-0052

東京都港区赤坂2丁目9番11号 オリックス赤坂2丁目ビル9階

URL: <http://www.sammy-net.jp>



当報告書は、環境保全のため、古紙100%再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しています。